

わらどん

平成28年6月16日

発行責任者
早川北小学校
校長 小林 玲子

特集 BEANS 始動!!!

未来の科学者を目指して

早川北小学校では、地域の皆様にお力添えをいただき、地域に根差した教育を実現させています。子どもたちは日々の学校生活を送りながら、早川の歴史や地域性、自然へと興味を深めています。今年はさらに、

三年生以上の「総合的な学習の時間」を使って、自然体験型学習の充実に取り組みます。この自然体験型学習をBEANSと命名しました。野鳥公園を活用した取り組みは、子どもたちを大きく成長させてくれそうです。



どんな力を育てるの？

BEANSの活動で...

- ① 目的を持った野外活動を通じて、「生きる力」の要素である科学的な視点を育成します。
- ② 「計画を立てる→現地調査をする→まとめる→発表する」を通して、問題解決能力を育成します。
- ③ 調査やまとめる活動、発表を通して、「コミュニケーション能力を育成します。

どんな活動をするの？

一学期は、興味関心を深めるために、これから三回の野外活動を予定しています。野鳥公園にいる動物や植物などに多く触れ、二学期以降にじっくり調査するテーマを見つけていきます。興味のあることに出会うことは、研究の第一歩です。手ほどきをして下さるのは、野鳥公園の大西さんと、時に応じて前校長先生の一瀬先生です。夏休みも継続調査の応援をしてくださると、嬉しいお言葉をいただきました。三学期にはまとめと発表会。ちびっこ科学者の発表会にご期待ください。

BEANSって何のこと？

BEcome A Natural Scientists!

自然科学者になろう！頭文字を取って、BEANS!

Beansは、豆のことです。

ちびっこ植物学者、ちびっこ自然学者など、小学生自然科学者の活躍を期待して命名しました。

子どもたちの意見込み

研究は、すでに始まっています

☆動物の写真をたくさん見て、みんなが、がんばって動物のことを調べているんだなあと思いました。僕も、お父さんと鹿を見たことがあるので頑張って調べたいです。(三年)

☆大西さんの話を聞いたらやる気が出ました。私がやりたいのは、自然が好きなので「葉っぱや木の臭い」です。早く野鳥公園の自然を知りたいです。(四年)

☆(動物が)食べた後は、葉っぱがギザギザと言ってびっくりしました。エビフライに触って、これは松ぼっくりなんだと思いました。スズメが少なくなっているという話を聞いて、びっくりしました。(四年)

☆大西さんの話を聞いて、ムササビは柔らかい新しめの葉の先っぽしか食べないことがよく分かりました。ムササビのフンをたどってどこまで行ったかをさがすことができると思います。(四年)

☆驚いたのは、ツバメがほとんど減っているということ。やりたいたいことも決まりました。前、木の実を調べたので、引き続き「どんぐりの全て」をやりたいです。(四年)

☆大西さんの話を聞いて、スズメが前より少なくなっていることを知りました。びっくりしたので、スズメがなぜ少なくなったのか調べたいです。(五年)



☆大西さんのセンサーカメラで撮った写真が、すごくいっぱい動物が写っていたのでびっくりしました。ほくもセンサーカメラを使いたいと思いました。(五年)

☆大西さんの話を聞いて驚いたのは、ムササビの食べた後の葉はVの字になっていることです。畑がなくなると食べ物がなくなっていく、スズメが減っていると聞いて悲しくなりました。スズメが生きていくには、畑の食べ物が必要なんだなと思いました。(六年)

☆ほくは、ガイドンズでムササビの食べかけの葉っぱや松ぼっくりを見せてもらったら、その葉っぱには、歯形がついていました。とても小さかったです。今後の野外活動が楽しみです。(六年)

☆ムササビが松ぼっくりを食べたあとや葉を食べたあとを見て、ほくが驚いたことは、自分が観たことがある他の動物の食べかけと違ったことです。大西さんは約五年かけても、調べきれないことがあるほど大変だということも知りました。(六年)



修学旅行



百人一首



BEANSガイド

